



岐阜県 安全・安心まちづくり情報

～ 第13号 ～ (平成25年7月)

「岐阜県安全・安心まちづくり情報」第13号をお届けします！

平素は「安全・安心まちづくり県民運動」にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

(今号の記事内容)

- 県内の犯罪情勢（上半期）について
- 「振り込め詐欺」に注意してください
- 「安全・安心まちづくりリーダー養成講座」を開講しました
- 地域で活躍している仲間を紹介します

岐阜大学学生保安消防隊(岐阜市)

平成25年夏の交通安全県民運動のお知らせ

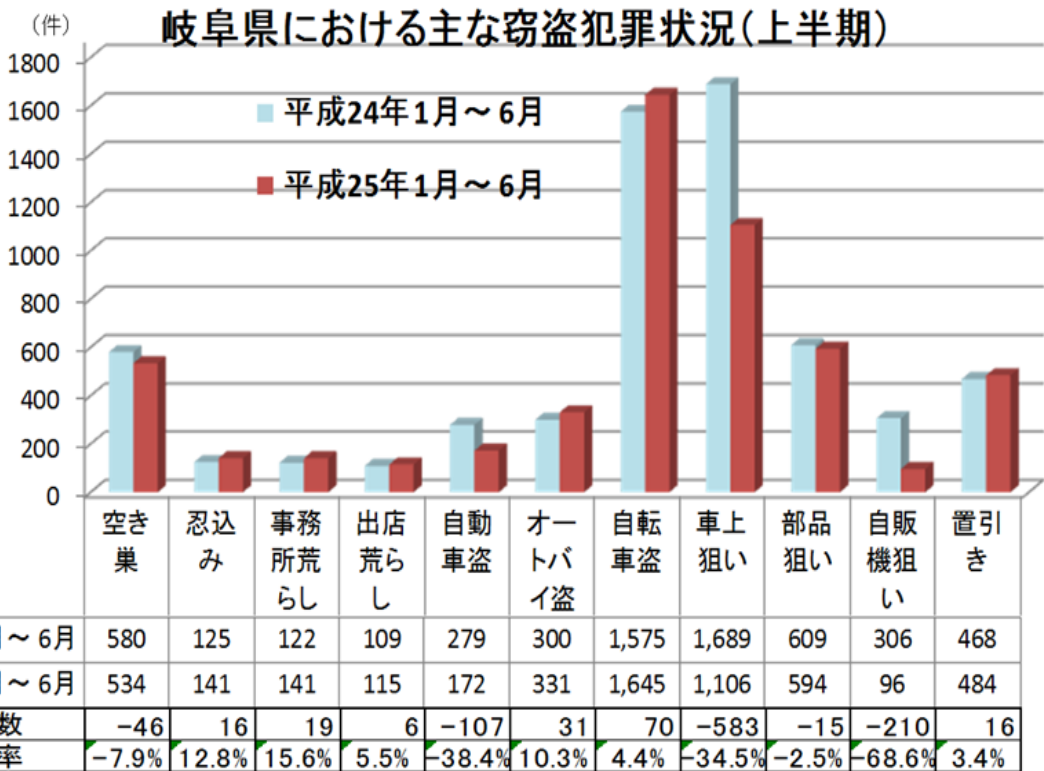
～ゆずりあう心で 夏の交通事故防止～

期間 平成25年7月11日(木)

～平成25年7月20日(土)

県内の犯罪情勢(上半期)について 【統計値:岐阜県警察資料(暫定値)】

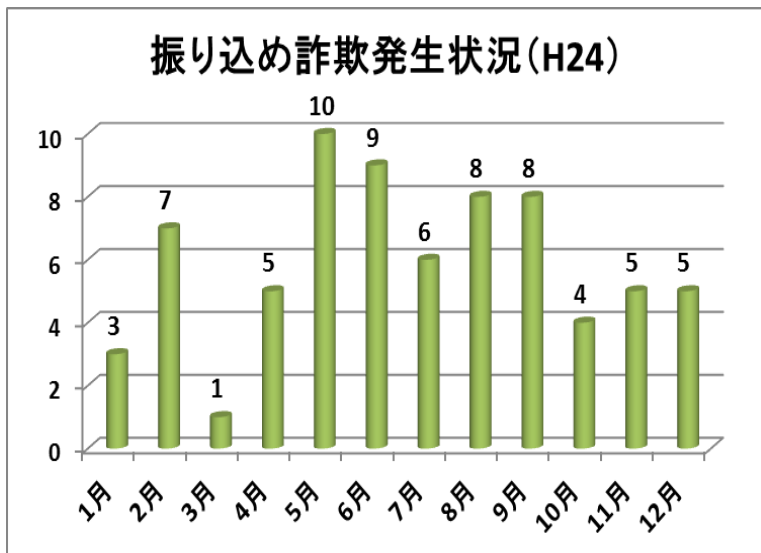
岐阜県における平成25年上半期の犯罪認知件数は11,150件で、前年対比▲849件(▲7.1%)と減少しました。しかし、窃盗犯罪では、忍込み、事務所荒らし、自転車盗、置き引き等は増加しています。また、依然として「振り込め詐欺」が多発しています。わずかでも不審に感じたら、迷わず110番通報しましょう。



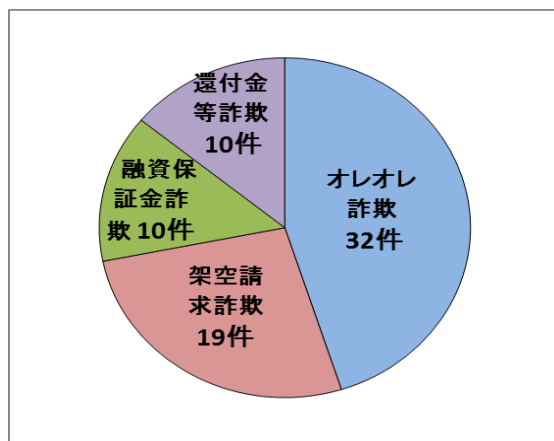
- 空き巣 約▲8%減少
- 事務所荒らし 約16%増加
- 自動車盗 約▲38%減少
- 自転車盗 約4%増加

「振り込め詐欺」に注意してください！！

平成24年中の振り込め詐欺被害件数は71件で平成23年に比べると△24件減少していますが、被害総額は、約2億0,458万円で平成23年に比べると約+9,073万円となっております。このことから、1件当たりの被害額が高額化していることが分かります。



《振り込め詐欺71件の内訳》



「振り込ませない」受取型の振り込め詐欺急増中！

振り込め詐欺の中でも最も多くを占めているオレオレ詐欺。

最近では、従来のように金融機関を通じて「振り込ませる」ものに加え、犯人が現金やキャッシュカードを直接自宅等に取りに来る「振り込ませない」振り込め詐欺(いわゆる「受取型」の手口)が増加しています。



こんな電話は詐欺です！



- 息子をかたり「携帯電話の番号が変わった」
→会社の金の使いこみ、交通事故などトラブルを口実にする手口
- 市役所や県等の職員をかたり「医療費の払い戻しがあります」
→ATMへ誘導し、操作させる手口
- 警察官等をかたり「キャッシュカードを預かります」
→口座情報がもれているので、金融機関の者を行かせるといった手口

家族の絆で振り込め詐欺被害を防ぎましょう

昨年の振り込め詐欺等の被害者は、約7割が60歳以上の高齢者です。普段から家族と連絡をとり、「合言葉」を作るなどして、被害を防止しましょう。



「安全・安心まちづくりリーダー養成講座」を開講しました！

地域の防犯ボランティア活動を支えるリーダーとなっただけできるよう、防犯に関する専門的知識やノウハウを学んでいただく「安全・安心まちづくりリーダー養成講座」を、平成 25 年 6 月 22 日（土）に美濃加茂市生涯学習センター 404 研修室にて開講し、第1回目の講座を開催しました。2限目の「防犯ボランティア団体活動事例から学ぶ（県内）」では、**恵那市大井町地域防犯パトロール隊の岩井慶次隊長**にご講義頂きましたので紹介します。

～ 大井町地域防犯パトロール隊 ～

【設立の趣旨】

身近なところでも犯罪が発生する中、市民の意識は治安に対する安心感を求めるようになりましたが、行政はなかなか対応してくれません。自分の地域の安全は自分たちで守る意識、知識の取組が必要であると考え結成しました。

【活動状況】

●活動人数

平成 25 年度 29 団体 466 名

縦糸と横糸がしっかり組み込まれた強固な組織づくりを目指しています。

●活動内容

- ・「放課後パトロール」…毎週火曜日 午後 4 時から 1 時間程度実施
- ・「夜間まちなかパトロール」…毎週金曜日 午後 7 時から 1 時間程度実施
- ・「青色回転灯パトロール車」…より広域的・機動的に活動するため、パトロール車を導入
青色回転灯、音楽を活用して抑止力と防犯意識の向上を図る
- ・「夏休み・年末一斉パトロール」…夏休み、年末には各種団体と連携し一斉パトロールを実施
- ・「ぱとまっぷ（安全マップ）の作成」…小中学校の協力を得て作成し、保育園・幼稚園に配付
3年に1度の見直し



≪「大井町防犯パトロール隊」岩井隊長の講義≫

●活動の成果の一例

- ・恵那警察署と合同で公園の防犯診断を実施。視線の妨げとなる植栽の剪定など花壇の整備
- ・犯罪が起きやすい暗い道などに防犯灯を設置

【今後の展開】

●地域の防犯力は地域力が決めて！！

自助、共助、公助の相乗効果により地域の防犯力が飛躍的に向上します。

●家庭・地域・学校・行政・警察の連携が必要！！

それぞれがバラバラに動くのではなく、それぞれの役割を最大限に引き出すための「協働」による安全・安心なまちづくりが求められます。



市民と警察・行政がうまく連携できるための**中間支援組織**としての役割を担う！！

●中間支援組織としての活動

- ・安心・安全な地域のビジョンづくり…家庭、地域、学校、行政、警察と連携し、地域の安全・安心なまちづくり計画を考えます。
- ・安全・安心情報集約・発信拠点…犯罪発生時などに、警察・行政からの情報をすぐに収集し、より効果的に伝達するための電子掲示板の運営や、地域安全マップの作成をします。

自らが防犯パトロールを行うことも大切ですが、市民一人ひとりの意識を改革していくことが地域力の向上になり、それが地域の防犯力に繋がっていきます。

地域で活躍している仲間を紹介します！

岐阜大学学生保安消防隊

活動地域:岐阜大学周辺

結成年月日:平成25年4月

活動人数:10名(男性8人女性2人)

◎隊長の荒木 雅さんにお伺いました。

【活動を始められたきっかけ】

岐阜大学に防災・防犯サークルのようなものがなかったため、学生が主体となった自主防災組織を立ち上げようと考え、防犯も活動の一環に取り入れました。

◀隊長の荒木 雅さん(中央)は地元の消防団に加入しています▶



【活動されている地域の特徴】

岐阜大学周辺はアパートが多く、他県から下宿している学生が多いと考えられます。夜間は街灯も少なく暗い道が多くあるため、防犯上危険な場所が多くあるのではと考えています。

【主な活動について】

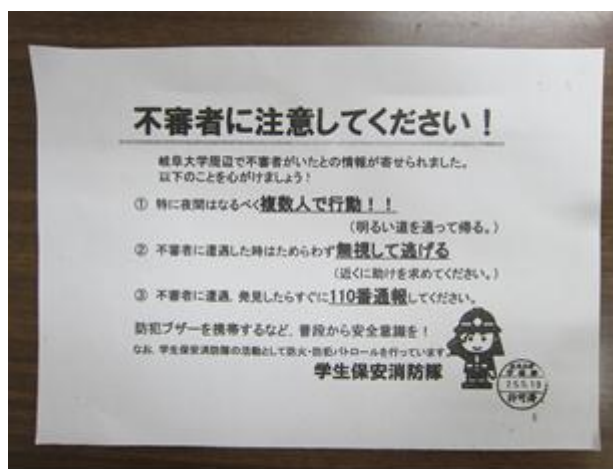
徒歩による夜間の大学構内パトロールと、車両を用いた大学周辺地域のパトロールを、週1回行っています。

【活動において工夫している点】

「無理なく参加できるときに気軽に参加しよう」という考えのもと、休むことに対して抵抗を感じさせない環境づくりを心掛けています。学生の本業である学業が優先です。

【活動を続けていて良かったこと】

大学構内の夜間パトロールを行っているとき、「こんばんは」と挨拶をすると、どの学生も元気よく挨拶を返してくれることが嬉しいです。自分たちの活動が少しでも防災・防犯のためになっているのかなと感じました。



◀作成配布したチラシ▶

【これからの目標や課題】

学生という立場である私たち若年層が、もっと防災・防犯に対して意識を高めていくことが大きな課題です。まずは、自分たちの団体を理解していただき活動に参加してくれる学生を多く増やし、若い力で活動を更に活発化させ地域貢献をしていきたいと考えています。

皆さまの活動の様子をご紹介させていただいております。
活動情報についての情報をお待ちしております。

安全・安心まちづくり県民運動～自分の地域の安全は、自分たちで守る～

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 地域安全室 地域・交通安全係
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
Tel 058-272-8205 Fax 058-278-2605
e-mail c11260@pref.gifu.lg.jp
<http://www.pref.gifu.lg.jp/bosai-bohan/bohan/hanzai-zero-machi/>